

## 神の国について②再臨(1)

ルカの福音書17:26-37  
2013,10,20 HKJCF

### 概論

序)①神の国への人々の期待②時期不明性・確実性③主の初臨・現臨・再臨

- |               |       |
|---------------|-------|
| 1、再臨の緊急性・重要性  | 26-33 |
| 2、神様の召しと再臨の予兆 | 34-35 |
| 3、再臨を意識して生きる  | 37    |
| 4、適用と祈り       |       |

### I 再臨の緊急性・重要性 26-33

- 1、ノアのケース 創9:9-11
- 2、ロト 創19:23-26
- 3、ロトの妻 )ポンペイ最後の日
- 4、決定的な教え(1) いのちとこの世  
⇒また、また違和感のある教え?  
①永遠のいのちはこの世のいのちの延長ではなく、永遠への飛躍②自我を守ろうとするほどこの世の束縛が強まる③ロトの妻・ポンペイの警告

### II 神様の召しと再臨の予兆33-37

- 1、寝台で寝ている男
- 2、臼をひく女  
⇒世界大、宇宙大の救いと個人的応答
- 3、決定的な教え(2)死体とハゲタカ  
①祝福 世界宣教・ユダヤ人の救い  
②惑わし 偽キリスト・背教・反キリスト  
③災い 戦争・民族紛争・大災害・迫害  
マタイ24章、ローマ9-11章、ルカ21章

### III 再臨を意識して生きる 37

- 1、「歴史の終焉と最後の人」F. Fukuyama  
①歴史の終焉:民主主義と自由経済  
②最後の人(?)としてのニヒリスト
- 2、コントロール不能の現代社会  
①現代科学②地球環境③家族④価値相対主義⑤ニヒリズム⑥市場原理主義⑦グローバルイズムと民族主義「文明の衝突」?  
⇒理性を神とした結果、偶像礼拝とモンスター化へ(フランケンシュタイン・ゴジラ)

### IV 適用と祈り

- 1、聖書・世界史・宣教・ユダヤ人・現代
- 2、「歴史の終焉と最後の人」F. Fukuyama  
⇒理性を神とした人間が民主主義政治と自由主義経済を達成し、歴史の大きな物語が終焉した後はニヒリズム(ニーチェ、伝道1:2-3)とコントロール不能の現実)
- 3、個人的決断  
①終末信仰への決断・十字架・聖霊信仰  
②あなたの小さな(?)神観が本来の姿になるよう祈ろう